昭和2年7月7日創立

世田谷区立東大原小学校

同窓会報

平成27年度　第1号
（平成27年7月発行）

発行所
世田谷区大原1-4-6
東大原小学校同窓会

発行人
野地勝彰

東大原最後の年

同窓会長　野地勝彰（一四回生）

四月の総会には新入会員を含めて一三〇名を超える会員に出席していただき滞りなく終了することが出来ました。ご協力有難うございました。

議事内容は二頁からをご覧頂きたく、また今年は役員の改選時期でしたが、学校統合への準備加速と今までの関与を考慮して理事一名を除き全員の留任が承認されました。このメンバーでこれからの二年間を進めて参りますので会員皆様の従前通りのご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて下北沢小学校発足まで残り一年を切りました。学校行事でも「最後の運動会」「最後の展覧会」など「最後」が多くなって、「ありがとう東大原」「さようなら東大原」と銘打っての閉校行事も多々企画されています。我が同窓会も「東大原小学校同窓会」の名称はたとえ最後となっても、同窓会活動が最後となることはありません。総会の開催、会員の親睦、地域行事への協賛、新校の教育環境向上への貢献、など今まで通りの活動を続けて参ります。この内「新校への協力」については東大原時代と同様にすることが今回の総会で承認されました。また同窓会の今後の名称と新校卒業生への対応についてのご意見も戴きました。

「下北沢小学校同窓会」とするか、学校名と無関係の名前とするか、それぞれに旧学校名を併記するか、がポイントとなりそうです。役員会で議論し、結論を出した上で来年の総会にお諮りします。多忙な一年となりますが皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

記念誌発行への原稿をお願いします

来年三月の東大原小学校閉校へ向けて記念文集を作る計画を進めています。会員の方々、教職員だった方々の「東大原小学校への想い」を四百字前後で投稿をお願いします。文集は二八年三月発行次回会報に同封予定です。ご協力下さい。

今年度で無くなってしまう母校校舎を懐かしむクラス会等開催予定の方々へのお願い

東大原小学校の校舎は平成二八年四月中旬以降新校建設へ向けて取り壊されてしまいます。最後に懐かしい教室に入って、懐かしい友達と学校に別れを惜しみたいと言う希望が、学校や同窓会に届いております。しかし学校を取り巻く環境は厳しく、個人情報の問題もあり、なかなか教室に入って、同級会などをすることは困難です。

そのため学校側と話し合い、自由に学校内に立ち入って別れを惜しむ機会を用意いたしました。同窓生の皆さまは是非この機会に合わせ、校舎へお別れする惜別の同級会などを計画してください。

平成二八年四月十日(日曜日)十時から一五時まで。PTAや同窓会、おやじの会、校庭開放委員会などの主催で「さようなら東大原」の会が催され、自由に東大原小学校内に出入りが可能となります。懐かしい母校の椅子に座って心ゆくまで童心に帰ってクラス会を開いてください。

なお平成二八年三月二十六日十四時半から母校体育館で母校最後の同窓会総会が開かれます。この日は教室内には入れませんが前記四月十日に都合がつかない方は、ぜひこの総会に出席しがてら同級会を開いて頂けたら幸いです。

二七年度定例総会の報告

同窓会報編集部会

平成二七年度の総会は平成二七年四月十九日(日曜日)午後三時より母校の体育館に於いて開催されました。

第一部は斎藤耕一さん(三四回生)の司会で、野地会長(二四回生)の挨拶、片山校長の挨拶に続いて新入会員を代表して三月に卒業したばかりの八八回生の権野にこさんと白根光之助さんの元気な挨拶があり、引き続き議事に入りました。

議事の詳細については四ページ、五ページをご覧ください。

今回の総会は同窓会役員の改選期でありましたが、議案第五号では会則に則りあらかじめ三月二九日に開催されました評議員会の場での決定に従い、学校閉校に向かって現在の役員体制を維持して臨むこと、従って会長、副会長、監事、評議員は留任。理事はご都合により一名土田真也さん(四七回生)が退任された他は全員が留任という内容が報告され、承認されました。

また議案第六号では野地会長の司会により、今後の同窓会・来年の総会・閉校行事についての説明があり、まだ新校設立後の同窓会活動をどうしていくのかが決まっていないこと、新校にお子さんを移さざるを得ない同窓会員からは、新校になっても新校の卒業生を受け入れて同窓会を続けて欲しいという意見が多いことなどの説明があり、会場の同窓生に意見が求められました。

会場からは四名の方が挙手発言なさいました。

二五回生の三樹勁志さんからは、「同窓会活動は継続した方が良い。三校並記の名前、例えば下北沢小学校連合同窓会(東大原・守山・北沢)として、守山小学校に同窓会がないのなら、新校になってから門戸を開いて受け入れたらよい。守山小に同窓会はなくても同窓生は沢山いるのだから、時間が経てば入って来る人は多いはずだ」という御意見が出ました。

十三回生の三宅雅彦さんからは、「私が卒業した時は第三荏原小学校と言う名前だった。それが守山小学校と北沢小学校と東大原小学校になった。だから私は東大原の同窓会に入っている。第三荏原の名前にはこだわらなかった。下北沢小学校同窓会で、その中に第三荏原小学校や東大原小学校の名前や歴史を語り継いでもらえればよい」というご意見が出ました。

二七回生の辻美智子さんは「私は東大原の名前を残してほしい。古い名前を並列した同窓会にして欲しい」と言うご意見。

二十回生の上野美昭さんは「同窓会名は下北沢小学校同窓会にまとめ、同窓会の会則にある会員資格を改訂し、第三荏原小学校、守山小学校の卒業生、東大原小学校の卒業生、下北沢小学校の卒業生を同窓会員とすると書けばよい」というご意見が出ました。

それぞれが今迄議論されてきたことが凝縮された様な意見で大変参考になりました。本年中に守山小学校の関係者とも打ち合わせ、決定しなくてはなりません。

他にもご意見のある方は八ページ記載の同窓会ＦＡＸまたはＥ-メールアドレスに是非ご意見をお送り下さい。

意見交換の後、臼井副会長(一七回生)より、閉校記念文集を来年三月までに作成したいこと、短くてもよいからなるべく多くの同窓生の東大原小学校への想いを集め載せたいので是非四百字前後で一文を書いて送ってくださいというお願いがありました。八ページ記載の同窓会ＦＡＸまたはＥ-メールアドレスに原稿をお送りください。

そして司会の斉藤監事(三四回生)による来賓紹介、そして来賓を代表して佐藤信彦ＰＴＡ会長による御挨拶があり、渡辺翠理事(二七回生)によるピアノ伴奏で、全員で校歌を合唱し一部を終了しました。

その後新入会員が卒業写真の配付を受けるため十五分ほど席を外すと言うハプニングがありましたが、皆さんが戻られて第二部の神谷寛子さんコーディネートの「レッツ　プレイ　ミュージック」が始まりました。神谷さんは下北沢地区で幅広い音楽活動をなさり、また北沢町会の役員を務められるなど地域に密着して以前から同窓会がお世話になっている方です。

今回は閉校も間近い総会なので、堅苦しかったり難しかったりする先輩同窓生の講話ではなくみんなで体育館で楽しめる音楽会をしようという企画で、神谷寛子さんにお願いしました。

色々な世代の方が集まっていますので、なるべく皆が歌える歌を選び、合唱をしたり、会場の参加者を三つのグループに分けて輪唱をしたり、楽器演奏をしたりしました。神谷さんが右へ左にダンスをしているように跳ねまわり、音楽指導をし、だんだん乗って来て飛び入りで楽器をもって演奏に入る方もいて、楽しい一時間でした。次頁総会写真でその雰囲気を楽しんでください。

終了後は全員で椅子や机を片づけ、第三部の懇親会。

神谷寛子さんが引き続き演奏をしてくださる音楽の中、ビールやジュースで乾杯、体育館のあちこちに同級会の輪が出来て、子ども時代に帰って楽しい会話に時間も忘れたひと時でした。

新入会員代表挨拶

総会議事運営

片山校長

野地会長

佐藤PTA会長

ご来賓の方々

神谷寛子さん

新入会員の皆さん

レッツ・プレイミュージック

平成27年　定例総会議事内容

第一部　総会議事

議案第1号　平成26年度事業報告

次頁掲載

議案第2号 平成26年度決算報告および監査報告

平成26年度決算報告　　平成27年3月31日（単位:円）

収入の部	予算額	決算額	支出の部	予算額	決算額
会費収入	600,000	474,000	活動費	490,000	394,083
寄付金収入	700,000	784,746	会報費	570,000	607,194
新会員入会金	4,500	4,700	総会･懇親会費	65,000	46,057
懇親会費	60,000	81,000	通信費	30,000	23,180
預金利息収入	0	204	文具等消耗品費	130,000	83,986
雑収入	0	3,500	振替費用負担	55,000	47,590
80周年記念誌販売	0	0	振替用紙代	3,300	3,102
当年度合計	1,364,500	1,348,150	当年度合計	1,343,300	1,205,192
前年度繰越金	1,939,304	1,939,304	次年度繰越金	1,960,504	2,082,262
合計	3,303,804	3,287,454	合計	3,303,804	3,287,454

平成26年度監査報告

決算書類を慎重に監査した結果いずれも
適正且つ妥当なものと認めます。

平成27年4月1日　　監事　礒　正格
福士　木綿子
斎藤　耕一

議案第3号 平成27年度事業計画

次頁掲載

議案第4号 平成27年度予算案

（単位:円）

収入の部	27年度	26年度	支出の部	27年度	26年度
	予算額	決算額		予算額	決算額
会費収入	500,000	474,000	活動費	420,000	394,083
寄付金収入	700,000	784,746	会報費	605,000	607,194
新会員入会金	4,500	4,700	総会･懇親会費	50,000	46,057
懇親会費	60,000	81,000	通信費	30,000	23,180
預金利息収入		204	文具消耗品費	100,000	83,986
雑収入		3,500	郵便振替払込料負担	50,000	47,590
			郵便振替用紙代	3,500	3,102
			閉校イベント準備金	800,000	
当年度合計	1,264,500	1,348,159	当年度合計	2,058,500	1,205,192
前年度繰越金	2,082,262	1,939,304	次年度繰越金	1,288,262	2,082,262
合計	3,346,762	3,287,454	合計	3,346,762	3,287,454

議案第5号 評議員・役員の改選

①評議員

卒業回	氏名	卒業回	氏名	卒業回	氏名
2	岸田 義明	29	重山 まこと	34	斉藤 耕一
12	岩下 秀男	29	福士 木綿子	34	小山田 忠
12	吉田 赳	30	玉利 勝昭	35	関根 純一
13	宮川 英子	31	岩本 照雄	38	山中 一享
15	礒 正格	32	小清水 和子	46	大木 弘人
17	大村 昭夫	32	宮田 維久子	47	窪田 賢雄
24	野地 勝彰	33	梶川 照矩	48	渡辺 明男
27	足立 逵三	33	神谷 良男	49	鈴木 茂
27	臼井 良雄	33	土田 真也	49	田尾 智志
27	大竹 英一	33	益井 純子	58	上原 謙介
27	渡辺 翠	34	漆畑 光一	副校長	青鹿 和裕
29	杉田 浩	34	大岡 雅子		

②会長･副会長

	卒業回	氏名	卒業回	氏名
会長	24	野地 勝彰		
副会長	27	臼井 良雄	32	小清水 和子

③監事

	卒業回	氏名	卒業回	氏名
監事	15	礒 正格	34	斎藤 耕一
	29	福士 木綿子		

④参与

	卒業回	氏名	卒業回	氏名
参与	2	岸田 義明	17	大村 昭夫
	12	岩下 秀男	18	山縣 武夫
	13	宮川 英子		

⑤理事

卒業回	氏名	卒業回	氏名	卒業回	氏名
27	大竹 英一	33	梶川 照矩	35	関根 純一
27	渡辺 翠	33	神谷 良男	48	渡辺 明男
29	杉田 浩	33	益井 純子	58	上原 謙介
29	重山 まこと	34	漆畑 光一	特別会員	青鹿 和裕
30	玉利 勝昭	34	大岡 雅子		(母校副校長)
32	宮田 維久子	34	小山田 忠		

議案第6号　来年の総会・閉校行事・今後の同窓会の運営について

① 来年度の同窓会定例総会　平成28年3月26日
閉校行事「さようなら東大原」平成28年4月10日

② 来年度の決算日の変更　平成8年3月20日

③ 新校設立後の同窓会の運営について 2頁参照

平成二六年度の活動

一．会報の発行
　年二回の会報作成を実施。

二．母校の教育環境の向上
●大野忠雄前校長の肖像写真寄贈
●母校、ＰＴＡ、おやじの会、校庭開放委員会、商店街、下北沢成徳高校等とのコミュニケーションを図り、各種催しへ参加した。
●同窓会文庫を充実すべく六月と十二月に学校側のニーズを聞き、本年度は四十七冊を寄贈した。
●新しく同窓会員になる卒業生に対して『三年日記』を、また四月に新しく一年生になる新入生には、縄跳びの縄を贈るべく学校に届けた。

三．同窓生や地域の親睦を図るための事業
親睦ゴルフの会は五月九日東京カントリークラブで開催、秋の親睦旅行は九月二十八、二十九日で新潟県六日町に行き、玉川酒造見学、八海山ロープウェイ等での観光をした。

四．その他
東日本大震災の被災者義援金は、昨年度と同額の三万円を日本赤十字社を通じて寄付した。

平成二七年度事業計画

一．同窓会の運営について
学校統廃合に当たり、今後の同窓会をどのようなものにしていくのかを検討する。
会員名簿の作成および会報の発行については、メンテナンスを継続する。
年二回の会報作成と、より多くの会員への会報送付を実施し、会費納入会員の増加を図る。
ホームページの充実を図る。

二．母校の教育環境の向上
母校や学校関係諸団体とのコミュニケーションを継続して行う。
各種学校関連行事への参加、協賛、同窓会文庫充実、新入同窓会員及び小学校新入生への記念品贈呈を継続する。

三．会員の福利厚生
親睦ゴルフ、秋の旅行は引き続き実施する。

四．新校への対応
３つのプロジェクトを立ち上げる。
①メモリアルスペースの実現
②東大原同窓会閉校記念誌（文集）発行
③二八年三月二十六日実施の閉校式後の同窓会総会を含めた「ありがとう東大原」イベント

クラス会だより

米寿を祝っての同期会

宮川英子（十三回生）

母校創立八十八周年の今年、私たちは同じく米寿となる。六月四日、下北沢南口「北海道」で毎年開催してきた同期会を今年も開催した。
今年は特別に「去りゆく母校にお別れする集い」と呼び掛けた。と言いながらも、今年も相次いで鬼籍に入られた友もいて、果たして何人集まれるかと幹事は心配していた。
でも、去年十二人だったが、今年も十一人の出席、遠くは米子市から空路かけつけた前渋民子さんをはじめとして、朝霞市、所沢市、草加市、綾瀬市、川崎市などから出席した懐かしい友とひとときの逢瀬を楽しむことができた。
私たちは昭和十五年（一九四〇）三月卒業で、男女それぞれ三クラス、一クラスは六十五人以上総勢三百四十三名の卒業だった。
全校児童千八百名を超す、母校最高の児童数の時代だった。休み時間は校庭に子どもたちが溢れ、ぶつかり合いながら遊ぶのが日常だった。だから昭和七年守山小、昭和一二年北沢小が出来たのだった。
そして今、時代の趨勢で統合となり、懐かしい母校との別れに遭遇してしまったのだ。
ワインを、ジュースを飲みながら、小学校時代の思い出話はつきなかった。
同窓会で発行する予定の閉校記念文集にも是非寄稿してほしいとお願いした。
名残は尽きない中にも時は過ぎ、お別れを前にみんな起立して「朝夕仰ぐ神山富士の・・」と声高らかに校歌を斉唱した。
毎年同期会のたびに歌っている校歌だったが、今年で母校ともお別れと思うとみんな胸に迫り涙が込み上げてきた。

みんな、八十八歳。「また来年も会いましょう」といってお別れをした。

三四回卒業生、初めての同期会

漆畑光一（三四回生）

平成二七年四月四日の土曜日に三四回卒業生による同期会が母校のランチルームで開催され同期生十八名と三組担任であった宮川先生も加え十九名が集まりました。

私たちが在学中に完成し毎日通った鉄筋の校舎も平成二八年四月以降解体され、東大原小学校の跡地に新しい校舎の建設が始まり、平成三十年四月から新校舎での「下北沢小学校」がスタートしますが、東大原小学校としての最後の桜を見ながら皆で思い出話をしようと初めて同期会を企画しました。

私たちは団塊世代の真っ只中、同期生は四クラス総勢二百二十六人おり、教室不足のため二部授業もあったこと、給食のミルク（脱脂粉乳）は苦手な生徒が多かったこと、放課後の遊び場所はどこの広場だった等当時の懐かしい話など次から次に飛び出し、また皆がそれを覚えていてさらに話が発展するなどでタイムスリップ、あっという間に予定の二時間が過ぎ、図書室、教室（我々はひとクラス五十五人学級で教室に机が一杯、今の教室の机の数を見てずいぶんゆったりとしており当時はぎゅうぎゅうであったのとの違いにビックリ）、修復された二宮金次郎像などを見学した後に二次会の会場である下北沢駅西口の湘南倶楽部に移動し美味しい料理と一次会では我慢していたアルコールも入り話題がつきなく楽しい同期会となりました。三組はここ数年クラス会を開催していましたが、他のクラスは卒業以来一度も集まりを持ったことがないとのことでしたが二年ごとのクラス替えで一度は同じクラスになったこともあるのでこれからはクラス会でなく同期会として集まることで皆の意見が一致し、次回はスケジュールの都合により今回参加できなかった仲間、連絡先不明の仲間も探し出してより多くの参加者による同期会を開催することを約して散会しました。

血圧・初恋・尿酸値

鈴木春樹（三三回生）

某月某日、小学校時代の同級生が某神奈川の某家という名の居酒屋に集合。集まった人間の九割はリタイアおじさん。集まりの名目は「クラス会の打ち合わせ」。

まず始めに席の取り合い。壁側の背をもたせかけられる席を我勝ちにと無言で、しかし強い意思を露わにしながら目指す。席を確保してからおもむろに「最近、腰がさあ…」「あっそうかい。こちらは膝がさあ…」。

さて、次は「とりあえず」と肴の注文に五分ほど。「エビ、イカはだめだぞ」の声に「おっ、お前も痛風か？！」と嬉しそうな声が応える。どうにか注文もまとまり乾杯というところで「ところで今日は何の会？」と聞く男がいつも何人かはいる。「いいから乾杯！」と無視されるのもいつもと同じ。

「母校もなくなってしまうことだし」とY野が口にすると「なくなっちゃうわけじゃないよ。守山と統合されるんだ」とK谷が。「どっちでもいいから、とにかくクラス会やろうよ」とE口がかき混ぜる。「早くやらないとまた誰かが故人になっちゃうぞ。実は主人は…なんて末亡人からの手紙を読むのは嫌だからなあ」とS木が。「ところでI藤さん元気かい？」とK花が。「あれ、お前I藤さん好きだったのか？」とS木。「I藤さん、血圧が高くて」「ふーん。可愛かったのになあ」「容貌と血圧に相関関係はないよ」「血圧といえばさあ、俺、この間狭心症の軽い症状が出て…」「だから、早くやろう、クラス会」「だからって、すぐにどうのこうのってほどじゃないよ」「それはともかく、今日はクラス会の日取りだけでも決めよう」「でも血圧に初恋の人は良くないんじゃないのか？」「興奮すると尿酸値も上がりそうだしなあ」「興奮と尿酸値とは…」。

そこに本日のメインディッシュの白子鍋が登場。「あっ、白子は痛風に悪いぞ。Y野は食えないな」とK花が。「いやいや、それがねえ、この薬を飲めば大丈夫」と口にしながらY野は獣医である娘から回してもらった犬用の薬をポケットから出して振り回す。クラス会の話題はどこへやら、ひたすら鍋を食べる音だけが部屋を満たしたのであります。

投稿のお願い

投稿をお願いたします。送り先は八ページにある同窓会事務所へのＦＡＸまたはＥ-メールでお願い致します。投稿なさる方は必ず氏名、卒業回数、卒業時の担任の先生名を付記してください。

一．同窓会の今後のあり方について

新校に統合された時今までの同窓生を中心とした東大原小学校同窓会は、新入会員が今後は入ってこないまま東大原小学校同窓会として新校とは関係なく継続するか、それとも新校の同窓会に衣替えをし、今後は旧守山小学校の同窓生も加入してもらい新校の同窓会として学校と関係を持ち続けて存続させるか、など大きく意見が割れています。今までの東大原同窓生の会費・寄付金も繰越で二百万円強が存在します。これをなし崩し的に新校の同窓会として他校の同窓生の為にも使用して良いのか、悩ましいところです。皆さまの積極的なご意見を求めます。

二．東大原小学校閉校記念同窓生メモリアル文集

来年の三月までになるべく多くの同窓生の東大原小学校への想い出や想いを残すための文集を発行します。４百字前後の短かくても想いのこもった文章を募集しています。

現在中学生の新入会員から第三荏原小学校卒のベテラン会員まで幅広い方々からの多くの投稿をお待ちしています。

三．メモリアルスペースのあり方について

世田谷区は新校に今まで八十八年の東大原小学校の歴史を残すため、メモリアルスペースの設置を了解しています。

そこには歴代の卒業アルバムや、卒業制作（写真で）、同窓会活動の歴史資料などを残すつもりで建築家の同窓生の助けを借り、内装設計にも意見を言わせていただいています。利用できるようにしていきたいと考えています。この部屋にあなただったら何を残したいですか？そういう思いがあればご意見をください。

欠番号卒業記念アルバム寄付のお願い

同窓会では今、過去の卒業記念アルバムを集め同窓会文庫に保管していますが、新校設立後はこれを整備してメモリアルスペースに並べる予定です。前回の会報や会報発送案内でお願いして集まったものもありますが、未だ左表に掲げた年の卒業アルバムが欠けています。特に戦後昭和二一年から昭和三三年までは六年生全部のアルバムではなく、クラス別のアルバムになっており、なかなか全部が集まりません。なおご寄贈いただける方は下記同窓会事務所連絡先へお願い致します。欠番は左記の通り。

平成27年6月2日現在で欠番のアルバム

昭和3年　1回生 全クラス	昭和22年 20回生 一組と二組
昭和4年　2回生 全クラス	昭和23年 21回生 全クラス
昭和5年　3回生 全クラス	昭和24年 22回生 全クラス
昭和6年　4回生 全クラス	昭和25年 23回生 全クラス
昭和7年　5回生 全クラス	昭和26年 24回生 二組と三組
昭和8年　6回生 全クラス	昭和27年 25回生 全クラス
昭和11年　9回生 全クラス	昭和28年 26回生 全クラス
昭和14年 12回生 全クラス	昭和29年 27回生 一組、三組、四組
昭和16年 14回生 紙複写のみ	昭和30年 28回生 一組、三組、四組
昭和17年 15回生 全クラス	昭和31年 29回生 三組と四組
昭和20年 18回生 全クラス	昭和33年 31回生 一組と三組
昭和21年 19回生 一組と二組	昭和63年 61回生 全クラス

編集後記

毎年総会が終わると忙しさから解放され、総会報告記事を中心に会報一号の作成にとりかかるが、今年は東大原最後の年ということもあり、メモリアルスペースの企画やメモリアル文集の企画、新校建設の公聴会への出席、守山小学校の閉校後の跡地利用公聴会への出席などで慌ただしく、記事の募集もはかどらず、なにか淋しい内容になりました。継続することに意味があるという同窓会仲間の声に励まされ、拙い文章でページを埋めています。皆さまの積極的な投稿をお願いたします。

同窓会への連絡、問い合わせ、寄稿の送付、送金の方法について

同窓会の事務所の所在地は会則では「東大原小学校」となっております。

しかし現状では、学校内で事務を行うことが学校管理上の理由で出来ません。会員各位にはこの点でご不便をお掛けします。

現在の事務局の住所は左記のとおりです。

連絡は郵便かＦＡＸでこちらにお願いいたします。

郵便番号　一五五-〇〇三一
世田谷区北沢二丁目三五-九
小清水ビル５Ｆ
東大原小学校同窓会事務局
ＦＡＸ　０３-５４５４-５３５６

本同窓会は政治・宗教・思想について中立を守ります。

東大原小学校同窓会　検索　http://www.higashiohara.jp/　dosokai@higashiohara.jp

平成27年5月末日までに、平成27年度の年会費・寄付金を納入して頂いた方々（数字は卒業回数、Tは学校関係者）

10 望月 令子
10 佐藤 信子
10 三宅 喜代子
11 冨田 隆
11 板橋 勅
11 千場 信夫
11 鮎澤 弘
11 篠山 茂行
11 嶋田 新一
11 三科 和子
11 石井 はる子
11 舩木 良子
11 青井 文子
11 穴沢 敏子
11 曽我 田津子
11 山崎 康子
12 岩下 秀男
12 吉田 赳
12 本橋 昇
12 遠山 國臣
12 岡 正雄
12 渡辺 一男
12 諸谷 昇平
12 高宮 彝
12 寛谷 恵美子
13 高見沢 裕
13 澤原 昌
13 吉田 太一
13 大井 收
13 村松 樹郎
13 三宅 雅彦
13 五郎川 英治
13 立原 千嘉子
13 宮川 英子
13 武田 千恵子
13 杉本 綾子
13 福島 昭子
13 森塚 ふね
13 土肥 京子
14 山縣 武典
14 永坂 友一
14 向後 康治
14 三品 勝美
14 立川 和子
15 斎藤 隆夫
15 今井 兼介
15 大矢 正雄
15 柏 誠次
15 平田 昭
15 野坂 茂子
15 高見澤 永子
15 伊藤 富士乃
16 山中 武
16 野口 てる子
16 永田 弘子
16 上田 潤子
16 石川 悦子
17 大村 昭夫
17 山田 彦三
17 山本 倫久
17 松島 俊昭
17 中村 若葉
17 高橋 宣子
17 石井 淑子
17 八木 江里
17 多田 美智子
17 鶴巻 久子
17 權田 揚子
18 菊田 精一郎
18 冨田 功
18 須貝 政男
18 小平 健男
18 上田 晴江
18 今坂 愛子
18 根岸 依子
18 江里口 弘子
18 大島 千津子
18 山縣 武夫
18 小田原 和子
18 尾花 珠樹
18 掠田 八穂子
18 伊藤 達雄
18 堀江 照彦
18 田村 浩子
18 松風 はる美
19 有居 俊
19 岩谷 豊彦
19 亀井 儀隆
19 安藤 猛
19 下條 陽夫
19 戸﨑 貞子
20 河野 照秋
20 田島 照郎
20 橋本 文男
20 恩田 孝順
20 岡田 昇
20 高原 文男
20 上野 美昭
20 中嶋 久次
21 藤田 彰
21 伊庭 保
21 鈴木 福子
21 若林 弘司
21 石田 一郎
21 石井 一
21 四竈 公子
21 志賀 芙規子
21 高比良 祐二
21 石崎 富子
21 吉田 巳矢子
22 小林 晟高
22 豊田 宏
22 佐々木 陽子
22 高橋 昌子
22 渡辺 路美
22 稲村 とし子
22 西川 武彦
22 張 富士夫
22 丸田 安子
22 西岡 巖
22 高橋 みどり
22 内海 典子
23 園田 博
23 増田 至弘
23 太田 健夫
23 土方 倭子
23 村崎 多寿子
23 島田 秀子
23 大塚 弘章
23 牧野 純一
23 阪本 俊子
23 高野 美也子
23 不破 澄江
23 安井 幹雄
23 南澤 明子
24 阿部 喜一
24 名児耶 忠
24 永井 昌平
24 星 輝佳
24 後藤 茂彦
24 深津 健司
24 奈倉 理一
24 中森 進
24 野地 勝彰
24 荒木 優江
24 野澤 桂子
24 泰 菊枝
24 土田 昌宏
24 山中 克昭
24 井上 賀百合
24 神田 美智子
24 田辺 明子
25 長谷川 博一
25 広瀬 正俊
25 三樹 勁志
25 尾崎 達男
25 岩崎 敏之
25 武田 国子
25 渡辺 公子
26 新居 忠夫
26 菅沼 浩一郎
26 鹿島田 茂夫
26 益津 マツエ
26 斎藤 初美
26 森定 洋子
26 園部 幸子
26 石川 喜代
26 戸崎 紀昭
26 小林 尚
26 上神谷 俊秋
26 坊坂 紀子
26 高木 光子
26 三橋 直樹
26 神田 友直
27 楠山 哲四郎
27 石田 次郎
27 臼井 良雄
27 鈴木 郁子
27 佐々木 洋子
27 小林 千和子
27 辻 三智子
27 片山 豊子
27 桑田 喜美子
27 佐藤 俊之
27 豊田 融
27 水口 宏道
27 岡本 匡房
27 宮川 守英
27 多 則央
27 杉浦 保夫
27 尾村 彰彦
27 香中 敬子
27 杉山 朝子
27 渡辺 翠
27 町田 恭子
27 紺頼 靖子
27 星 明子
27 植田 和子
27 麻田 治代
27 足立 逡三
27 福島 肇
27 赤尾 英城
27 飯田 充
27 佐藤 修
27 大場 忠太郎
27 鞍橋 希瑳子
27 佐佐木 慧子
27 五十嵐 吉辰
27 大島 睦治
27 森野 晏侑
27 高橋 雄一
27 原田 英紀
27 辻 節子
27 海老 秀子
27 岩田 玉江
27 寺嶋 美智子
27 行廣 清彦
28 伊藤 隆輔
28 福井 眞子
28 新居 成夫
28 加藤 敏子
28 村木 恭子
28 鈴木 智恵子
29 杉田 泰之
29 中山 弘
29 鈴木 征彦
29 高野 孟
29 宮村 昌江
29 川口 弘子
29 神村 妙子
29 福士 木綿子
29 今井 千恵子
29 河村 郁子
29 吉井 衛
29 江川 勇夫
29 中山 宏美
29 重山 まこと
29 伊東 靖夫
29 松橋 親
29 大倉 勝利
29 室井 謙三
29 江口 篤子
29 小野 成子
29 石飛 亮子
29 田矢 美代
29 浅川 英雄
29 下井 大平
29 松岡 一子
30 玉利 勝昭
30 戸ノ下 静枝
30 永田 京子
30 師 勝介
30 伊藤 正敏
30 流石 朝之
30 水野 治子
30 石井 修
30 依田 寿子
30 渡辺 怜子
30 泉 重和
30 海野 建彦
30 松尾 軍治
31 日高 忠保
31 白鳥 義男
31 田中 宗一
31 井上 嘉世子
31 藤村 純子
31 加藤 章江
31 平川 智恵子
31 加藤 和
31 秋山 邦夫
31 守屋 吟治
31 大里 義男
31 石田 琇暉
31 野村 斎
31 芝谷 清
31 舞木 哲也
31 石井 寛
31 松本 英太
31 本田 敏子
31 田中 清子
31 川瀬 芙美子
32 松島 紘一
32 平田 敏之
32 新井 光治
32 高橋 和義
32 中川 雅治
32 伊藤 知子
32 直井 幸子
32 芦田 伊識
32 眞瀬 俊二
32 川端 純子
32 竹内 千鶴子
32 小松 徹
32 小清水 和子
32 神田 啓子
32 小峰 暁子
32 塩坂 武彦
32 内山 政明
32 藤田 早苗
32 鈴木 保子
32 宮田 維久子
32 伊藤 照美
32 金井 美恵子
32 小林 富子
33 青木 邦雄
33 今井 弘美
33 牧 甫
33 磯野 美織
33 山本 駿介
33 森野 豊
33 梶川 照矩
33 鈴木 晋一
33 中村 清子
33 清水 みき子
33 宗像 孝育
33 安野 信
33 神谷 良男
33 田下 佳彦
33 飯田 朗
33 新居 晴夫
33 鈴木 春樹
33 益井 純子
33 渡辺 耀子
33 野永 みどり
33 樋口 和子
33 香野 百合子
33 澤 美柄子
33 野元 和夫
33 山本 妙子
33 橋本 みさ子
33 福原 佳寿子
33 土田 真也
33 遠藤 孝雄
34 新庄 良太郎
34 児玉 令子
34 吉井 純子
34 西岡 万里子
34 古木 和江
34 漆畑 光一
34 岸田 利夫
34 斎藤 耕一
34 小山田 忠
34 内川 雅子
34 内藤 純子
34 大岡 雅子
34 谷平 三恵子
34 村居 洋子
34 黒澤 もと子
34 原嶋 文子
34 広瀬 和子
35 伊藤 彰二
35 大竹 康広
35 添田 恵美子
35 直井 光子
35 前盛 道子
36 吉川 喜久代
36 中山 幸栄
36 山﨑 雅子
36 福井 節子
37 関 孝和
37 直井 文博
37 根本 隆夫
37 降旗 正明
37 石山 恭市
38 真崎 淳
38 山中 一亨
38 秋山 千鶴子
38 加藤 正毅
39 佐野 修司
40 小穴 是昭
40 島田 正志
40 清水 クルミ
40 篠山 行夫
41 神谷 千鶴子
42 大澤 弘一
42 加藤 佐旗雄
42 久木元 延生
42 藤森 嘉孝
43 飯島 弘一
44 阿部 由美子
44 山下 富恵
45 北村 敏夫
45 加藤 真希子
46 武中 千里
47 大久保 貴美子
47 子安 修
48 渡辺 明男
49 田尾 智志
49 金子 賢三
49 鈴木 茂
50 徳永 美和子
50 佐藤 しのぶ
51 増田 光彦
55 宮田 健二
57 瀬戸井 嘉美
58 上原 謙介
58 本多 優
59 漆畑 郁子
59 友葭 敬子
59 羽生田 やまめ
60 竹内 真弓
61 漆畑 祐介
61 冨安 毅
61 中川 俊輔
61 野地 須美子
63 眞木 明香
63 高橋 裕美
63 小林 謙三
73 降簱 弘明
77 降簱 俊明
79 大槻 洋明
79 竹田 勇
81 藤井 俊之
T 吉岡 隆
T 望月 稔
T 佐藤 信彦